実務経験のある教員による授業科目の一覧表

≪法令で定める単位数等の基準数相当分≫

【 高度情報技術学科 】

科目名	単位時間数
ビジネスマナーⅠ	30
ビジネスマナーⅡ	30
プロジェクトベースラーニングⅠ	90
プロジェクトベースラーニングⅡ	90
インターンシップⅠ	30
インターンシップⅡ	30
合計	300

実務経験のある教員等による授業科目の
授業計画書（シラバス）
≪省令で定める単位数等の基準数相当分≫

～高度情報技術学科～

科目名	ビジネスマナーⅠ	単位時間数	30	科目コード	
授業形態	講義	対象学生	1年生	開設期	1年前期
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	○
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	・接遇の心構えをふまえて、言葉遣い、人格的マナー等社会人としての基礎の習得を指導します。 ・敬語、ビジネス電話応対、手紙の書き方、Eメール送信の基礎を指導します。				
授業の一般目標	社会人・企業人として仕事をしていく上での心構え・ビジネスマナーを習得する				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	教本（実践ビジネスマナー）、電話応対模擬機材、便せん、封筒、切手				

授業の到達目標

□ 知識・理解の観点	社会人・企業人としての基本的なマナー・ルールの理解
□ 思考・判断の観点	社会人として常識的な行動・言動を習得する
□ 関心・意欲の観点	物事に積極的に取り組む意欲を養う
□ 態度の観点	社会人としてふさわしい言動・身だしなみを身につける
□ 技能・表現の観点	正しい言葉遣い・あいさつ・行動等、コミュニケーション能力を高める

授業計画（全体）

教本を軸として、様々なケースをロールプレイングを織り交ぜて授業を行います。
特に電話応対は模擬応対機を使用し、実務に即した応対を指導します。
社会人として即戦力となるビジネスマナーを習得すべく指導していきます。

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～2	第1章 社会人としての心構え1（接遇の基本理念・ﾎｽﾋﾟﾀﾘﾃｨ・CS思考）		
3～4	第1章 社会人としての心構え2（報告・連絡・相談），3		
5～6	第3章 言葉遣いの基本　1（日本語の特性、接客8大用語、ｸｯｼｮﾝ言葉）		
7～8	第3章 言葉遣いの基本　2		
9～10	第3章 言葉遣いの基本　3		
11～12	手紙の書き方　お礼状・お詫び状		
13～14	第5章 電話応対 1，2　資料編1発声練習、2滑舌の練習		
15～16	第5章 電話応対 2，ロールプレイング3		
17～18	第5章 電話応対 3，4		
19～20	第5章 電話応対 ロールプレイング4		
21～22	第5章 電話応対 5，ロールプレイング5		
23～24	第5章 電話応対 ケーススタディ3		
25～26	第5章 電話応対 6，(クレーム対応)		
27～28	第5章 電話応対 6，(Eメール)		
29～30	前期試験実施		

成績評価方法

1　期末試験（筆記）
2　小テスト
3
4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		60	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	○					40	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGP点数

担当教員	江見恵子・池田美和子	実務経験紹介	企業、官公庁にてビジネスマナー指導にあたる

https://urbanemi.com/

科目名	ビジネスマナーⅡ	単位時間数	30	科目コード	
授業形態	講義	対象学生	1年生	開設期	1年後期
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	○
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	・来客、訪問のマナーを実践練習を通して習得すべく指導を行います。 ・冠婚葬祭や食事のマナー、ビジネス文書、個人情報保護法についての基礎を指導します。				
授業の一般目標	社会人・企業人として仕事をしていく上でのビジネスマナー・社会常識を習得する				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	教本（実践ビジネスマナー）、名刺、湯飲み、茶托、お盆、カップ、ソーサー、割り箸等				

授業の到達目標

□ 知識・理解の観点	社会人・企業人としての基本的なマナー・ルールの理解
□ 思考・判断の観点	社会人として常識的な行動・言動を習得する
□ 関心・意欲の観点	物事に積極的に取り組む意欲を養う
□ 態度の観点	社会人としてふさわしい知識・言動・身だしなみを身につける
□ 技能・表現の観点	正しい言葉遣い・あいさつ・行動等、コミュニケーション能力を高める

授業計画（全体）

教本を軸として、様々なケースをロールプレイングを織り交ぜて授業を行います。
名刺交換の仕方や、応接室や廊下、エレベーターを使用してのロールプレイングも実施します。
社会人として即戦力となるビジネスマナーを習得すべく指導していきます。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～2	第４章 来客応対 １，２		
3～4	第４章 来客応対 ロールプレイング１		
5～6	第４章 来客応対 ４，ロールプレイング２		
7～8	第４章 来客応対 ５，ケーススタディ１		
9～10	第４章 来客応対 ６		
11～12	第４章 来客応対 ７，９，１０		
13～14	第４章 来客応対 ８，ケーススタディ２		
15～16	第６章 訪問のマナー１，ロールプレイング６		
17～18	第６章 訪問のマナー２		
19～20	第６章 訪問のマナー　ロールプレイング７、名刺		
21～22	第６章 訪問のマナー３，資料編３		
23～24	資料編４、５		
25～26	ビジネス文書		
27～28	個人情報保護法		
29～30	後期試験実施		

成績評価方法

1　期末試験（筆記）
2　小テスト
3
4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		60	秀、S（4）：９０点以上
小テスト	◎	○					40	優、A（3）：８０点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：７０点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：６０点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：５９点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（　）内はＧＰ点数

担当教員	江見恵子・池田美和子	実務経験紹介	企業、官公庁にてビジネスマナー指導にあたる	https://urbanemi.com/

科目名	プロジェクトベースラーニングⅠ	単位時間数	90	科目コード	
授業形態	講義	対象学生	1	開設期	1年生後期
受講条件		開設時期	後期	教員実務経験対象	有
授業概要　（目的、目標とする資格・検定等）	本授業では、SDGs課題解決に向けたコンペティションを通じて、社会問題に対する各自のアイデアを映像やWebデザインのアウトプットとして、形にしていくことを目標とする。				
授業の一般目標	思考技法（ブレーンストーム）、情報技術（映像制作、Webデザイン制作）				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）					

授業の到達目標

☑知識・理解の観点
(1)SDGｓで取り組むべき課題を把握し、効果的なアウトプット（映像、Webデザイン）が実現できるようにコンテンツを制作できること。

☐思考・判断の観点
(1)
(2)

☐ 関心・意欲の観点
(1)
(2)

☑ 態度の観点
(1)仲間を尊重し、自らもリーダーシップを発揮することでプロジェクトを円滑に進行させる態度を身につける。

☑ 技能・表現の観点
(1)自分たちの成果が、UX(User Experience)を通じて、観る人に感動を与えることを学ぶ。
(2)実装技術のみならず、それをプレゼンテーションする資料、表現方法を学ぶ。

授業計画（全体）

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～6	SDGｓ課題把握		
7～12	作業スケジュール		
13～18	企画		
19～24	コンテンツ制作		
25～30	コンテンツ制作		
31～36	コンテンツ制作		
37～42	コンテンツ制作		
43～48	コンテンツ制作		
49～54	コンテンツ制作		
55～60	コンテンツ制作		
61～66	成果物中間発表		
67～72	コンテンツ制作改善		
73～78	コンテンツ制作改善		
79～84	コンテンツ制作改善		
85～90	成果物最終発表		

成績評価方法

1　チームで完成させた成果物及び説明プレゼンを通じて理解度をチェック
2　演習や授業態度を見て、関心・意欲をチェック
3　出席が半分に満たないもの、授業中の態度が著しく悪いものは評価しない

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀、Ｓ（４）：９０点以上
小テスト								優、Ａ（３）：８０点以上
宿題授業外レポート								良、Ｂ（２）：７０点以上
授業態度				◎			20	可、Ｃ（１）：６０点以上
発表・作品	◎			◎	◎		60	不可、Ｅ（０）：５９点未満
演習				◎			20	未修得、履修放棄、Ｆ
出席								（　）内はＧＰＡ点数

担当教員	中村　誠	実務経験紹介	企業での情報システム部門で勤務後、現在はＩＴコンサルタント http://www.shonanwind.com/profile.html

科目名	プロジェクトベースラーニングⅡ	単位時間数	90	科目コード	
授業形態	演習	対象学生	2	開設期	2年生後期
受講条件		開設時期	後期	教員実務経験対象	有
授業概要　（目的、目標とする資格・検定等）	本授業では、COG2019及びオープンデータアプリコンテストに資する上流から実装に至る様々な技術を講義・演習を通じて実践し、形にしていくことを目標とする。				
授業の一般目標	思考技法（親和図法、連関図法、ヒアリング、ブレーンストーム）、情報技術（Raspbian, Python, nginx, PHP, 他）				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	テキスト：「最新　Raspberry Piで学ぶ電子工作」金丸隆志著　講談社　ISBN978-4-06-257977-3 参考書：「これ一冊で出来る！　ラズベリー・パイ超入門」　福田和宏著　ソーテック社　ISBN978-4-8007-1172-4 ：「ラズパイマガジン」　日経ＢＰ　（みんなのラズパイコンテスト作品等の資料として使う）				

授業の到達目標

☑知識・理解の観点
(1)業務課題、ニーズ等を把握し、実現方式まで落とし込むことによって、上流過程での分析、企画技術を理解する。
(2)Raspberry Piを通じて、センサーなどをつないだ電子回路を動作させることで、基礎的なコンピュータ技術を理解する。
(3)小型サーバーを立てて、基礎的なWebサーバーやネットワーク技術を理解する。

☑思考・判断の観点
(1)問題点分析、ニーズ把握に対して思考技術（ロジカルシンキング、ヒアリング等）を身につける。
(2)課題解決のための手段展開を行い、基本的な計画策定が出来るよう思考技術を体験する。

☑ 関心・意欲の観点
(1)IoT、サーバーなどコンピュータで実現する方法が多くあることを学び、ＩＴに関する関心を高める。
(2)意欲的に取り組み、入力を増やすことによって、良いアウトプットが出ることを体感する。

☑ 態度の観点
(1)仲間を尊重し、自らもリーダーシップを発揮することでプロジェクトを円滑に進行させる態度を身につける。

☑ 技能・表現の観点
(1)自分たちの成果が、UX(User Experience)を通じて、使う人に感動を与えることを学ぶ。
(2)実装技術のみならず、それをプレゼンテーションする資料、表現方法を学ぶ。

授業計画（全体）

(1)小型コンピュータ（ラズパイ）でも出来ることを学ぶ。（IoT、UNIXサーバー） 1～4回次
(2)問題解決技法を用いて、基本計画書、プロジェクト計画書を作成し、プロジェクトを発足する。5～8回次
(3)リーンスタートアップのための、エクストリーム・プログラミングの実施　9～14回次
(4)成果発表　15回次

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～4	基本計画書		
5～8	プロジェクト計画		
9～12	システム計画		
13～16	計画発表		
17～20	システム設計		
21～24	プログラム作成		
25～28	プログラム作成		
29～32	プログラム作成		
33～36	プログラム作成		
37～40	プログラム作成		
41～44	プログラム作成		
45～48	フィールドワーク（UXヒアリング、ピボット）		
49～52	システム設計、プログラム作成		
53～56	システム設計、プログラム作成、最終プレゼン準備		
57～60	小テスト、最終プレゼン（デモを含む）		

成績評価方法

1　授業で出した課題を提出し、理解度をチェック
2　チームで完成させた成果物及び説明プレゼンを通じて理解度をチェック
3　演習や授業態度を見て、関心・意欲をチェック
4　出席が半分に満たないもの、授業中の態度が著しく悪いものは評価しない

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価せず	秀、Ｓ（４）：９０点以上
小テスト	◎	◎			◎		20	優、Ａ（３）：８０点以上
宿題授業外レポート							評価せず	良、Ｂ（２）：７０点以上
授業態度			◎	◎			20	可、Ｃ（１）：６０点以上
発表・作品	◎	◎	◎	◎	◎		40	不可、Ｅ（０）：５９点未満
演習		◎	◎	◎			20	未修得、履修放棄、Ｆ
出席							欠格条件	（　）内はＧＰＡ点数

担当教員	中村　誠	実務経験紹介	企業での情報システム部門で勤務後、現在はＩＴコンサルタント http://www.shonanwind.com/profile.html

科目名	インターンシップⅠ	単位時間数	30	科目コード	
授業形態	実習	対象学生		開設期	1年後期
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	○

授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	実際のビジネスの世界を体験し、働くことの厳しさと、これまで学んできたことを活かす楽しさを実感する。
授業の一般目標	現場での実習体験を通じ、自分の適性を確認できるようにする。 働くことの意味と厳しさ、楽しさを体感し、自分の就職活動の幅を広げる。
受講条件	
事前学習について（テキスト・参考書等）	

授業の到達目標

☐ 知識・理解の観点

☐ 思考・判断の観点

☐ 関心・意欲の観点

☐ 態度の観点

☐ 技能・表現の観点

授業計画（全体）

興味、関心のある企業、業界を研究し希望調査を実施したうえでマッチングをしていく。
その後実習に向けての心構え、電話でのアポイントメントのとり方、実習先を訪問する際のマナーなどをレクチャーし実習に臨んでもらう。
実習が終了したらお礼状、報告書を作成し、必要に応じて報告会を行う。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～2	希望先調査		
3～4	事前指導①（インターンシップの意義）		
5～6	事前指導②（提出書類の書き方）		
7～8	事前指導③（電話アポイントメントのとり方）		
9～10	事前指導④（事前訪問でのマナー）		
11～12	事前指導⑤（情報漏えいに関する指導（ＳＮＳのマナー））		
13～26	実習		
27～30	お礼状、報告書の作成		

成績評価方法

1　企業実習評価報告書
2　実習中の出席と実習態度
3
4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	○			○		60	秀、Ｓ（4）：９０点以上
小テスト							なし	優、Ａ（3）：８０点以上
宿題授業外レポート							なし	良、Ｂ（2）：７０点以上
授業態度			○	◎			20	可、Ｃ（1）：６０点以上
発表・作品							なし	不可、Ｅ（0）：５９点未満
演習							なし	未修得、履修放棄、Ｆ
出席			○	◎			20	（　）内はＧＰＡ点数

担当教員	各実習先担当者	実務経験紹介	

科目名	インターンシップⅡ	単位時間数	30	科目コード	
授業形態	実習	対象学生		開設期	2年後期
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	○
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	実際のビジネスの世界を体験し、働くことの厳しさと、これまで学んできたことを活かす楽しさを実感する。				
授業の一般目標	現場での実習体験を通じ、自分の適性を確認できるようにする。 働くことの意味と厳しさ、楽しさを体感し、自分の就職活動の幅を広げる。				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）					

授業の到達目標

□ 知識・理解の観点

□ 思考・判断の観点

□ 関心・意欲の観点

□ 態度の観点

□ 技能・表現の観点

授業計画（全体）

興味、関心のある企業、業界を研究し希望調査を実施したうえでマッチングをしていく。
その後実習に向けての心構え、電話でのアポイントメントのとり方、実習先を訪問する際のマナーなどをレクチャーし実習に臨んでもらう。
実習が終了したらお礼状、報告書を作成し、必要に応じて報告会を行う。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～2	希望先調査		
3～4	事前指導①（インターンシップの意義）		
5～6	事前指導②（提出書類の書き方）		
7～8	事前指導③（電話アポイントメントのとり方）		
9～10	事前指導④（事前訪問でのマナー）		
11～12	事前指導⑤（情報漏えいに関する指導（ＳＮＳのマナー））		
13～26	実習		
27～30	お礼状、報告書の作成		

成績評価方法

1　企業実習評価報告書
2　実習中の出席と実習態度
3
4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	○			○		60	秀、Ｓ（4）：９０点以上
小テスト							なし	優、Ａ（3）：８０点以上
宿題授業外レポート							なし	良、Ｂ（2）：７０点以上
授業態度			○	◎			20	可、Ｃ（1）：６０点以上
発表・作品							なし	不可、Ｅ（0）：５９点未満
演習							なし	未修得、履修放棄、Ｆ
出席			○	◎			20	（　）内はＧＰＡ点数

担当教員	各実習先担当者	実務経験紹介	